

Q

質問

いつからお金(かね)ができたのですか？

(山下紗楽 2年)

答え

A

お金(かね)という「コイン」(金属)のお金(かね)やお札(紙のお金)が思い浮かぶのではないのでしょうか。お金(かね)がいつからつくられるようになったのかは、はっきりしません。「お金(かね)」とはなにかを考えながら歴史(れきし)をたどってみると、大勢(おおぜい)の人が「これがお金(かね)だ」と思うものが、その時代、その地域(ちいき)で「お金(かね)」として使(つか)われてきました。

現在(げんざい)に残(のこ)されている世界(せかい)で一番古(いちばんふる)い金属(きんぞく)のお金(かね)は、いまから約(やく)二六〇〇年(ねん)以上(じょうまえ)上(じょう)前(ぜん)(紀元(きげん)前七世紀(せい)頃(ころ))に現在(げんざい)のトルコ(せいぶ)西部(せいぶ)でつくられた「エレクトロン貨(か)」。金(きん)と銀(ぎん)でできたお金(かね)とされています。日本(にほん)ではじめて国(くに)がつくったお金(かね)は銅(どう)でできたお金(かね)「富本銭(ふほんせん)」であると考え(かんが)られています。いまから一三〇〇年(ねん)以上(じょうまえ)前(ぜん)(七世紀(せい)後半(こうはん))に「富本銭(ふほんせん)」をつくった跡(あと)が、奈良(なら)県(けん)で見(み)つかっています。その少し(すこ)後に(あと)発行(はつこう)された「和同(わどう)

開珎(かいちん)はより多く(おほ)つくられ、全国(ぜんこく)に運(はこ)ばれました。

「富本銭(ふほんせん)」も「和同開珎(わどうかいちん)」も丸(まる)い形(かたち)で、まんなか(し)かくあな(あな)があ(あ)っています。中国(ちゅうごく)では以前(いぜん)から同じ(おな)形(かたち)のお金(かね)がつくられていました。日本(にほん)は中国(ちゅうごく)のさま

ざまな仕組(しく)みを取(と)り入(い)れながら、国(くに)の仕組(しく)みを整(ととの)えてきました。お金(かね)も、中国(ちゅうごく)になら(な)ってつくりました。

日本(にほん)で最初(さいしょ)のお札(さつ)は、いまから四〇〇年(ねん)以上(じょうまえ)前(ぜん)(一七世紀(せい)初(しよ)め頃(ころ))に現在(げんざい)の三重(みえ)県(けん)でつくられ、その地域(ちいき)だけで使(つか)われました。その後(ご)は江戸(えど)時代(じだい)も、全国各地(ぜんこく)で多くの種類(しゆるい)のお札(さつ)がつくられました。それ(それ)らはその地域(ちいき)だけで使(つか)えるお札(さつ)でした。国(くに)が全(ぜん)国(こく)で使(つか)えるお札(さつ)をつくったのは明治(めいじ)時代(じだい)(一八六八(ねん))にな(な)ってから(か)らです。

(日本銀行金融研究所貨幣博物館主任学芸員・関口かをり)

